

いっしょに
育てていきたいから。

保護者、教員、そして生徒が紡ぐ一高の絆

Parents, Teachers and Students

●4月29日に、公開授業・学校PTA総会・学年PTA・学級PTA・3学年保護者進路研修会が開催されました。

●6月1日、前期中間テストの最終日の午後、1学年保護者進路研修会が開催され、1学年の多くの保護者の方々にご参加いただきました。



これから行われる研修会

2学年の保護者進路研修会は、11月27日(月)に開催予定です。多くのご参加をお待ちしております。



●6月の通学時間帯に、挨拶の励行や自転車の運転マナー向上を目指して、マナーアップ運動が行われました。保護者の方々にも、雨の中ご参加いただきました。



●一高祭最終日のバザーに際して、それぞれのご家庭から遊休品の提出をご協力いただき、ありがとうございました。おかげさまで、バザー当日には保護者や一般の方々が大勢来場され、大盛況となりました。

山梨県高P連 2017年度体制発足しました。

山梨県高等学校PTA連合会定期総会に参加して

PTA副会長 水村 勝

去る5月19日山梨県立文学館講堂にて、山梨県高P連の定期総会が開催され、大沢PTA会長、古河教頭先生とともに参加致しました。

昨年度の事業報告及び決算、本年度の事業計画と予算が承認され、平成28年度退任役員に感謝状が贈呈されました。

山梨県高P連会長には植村武彦氏(甲府南高PTA)が選任され、新体制にてスタートしました。また7月7日から8日に開催される関東地区高P連合会神奈川大会への参加協力要請及び開催要項の説明がありました。

事務局長には歴代の甲府一高の赤池前校長先生が選任され、大沢会長も山梨県高P連副会長に就かれました。一高の役割の重さを実感し、また身が引き締まるとも充実した総会であった事を報告させていただきます。

発行◎山梨県立甲府第一高等学校PTA
〒400-0007 山梨県甲府市美咲2丁目13-44 tel.055-253-3525 fax.055-253-3527
発行日◎平成29年7月21日
編集◎山梨県立甲府第一高等学校 総務広報係

<http://www.first.kai.ed.jp/>

一高ホームページは、保護者向けのサイトも充実!!
保護者向けに発行している便りは、学校ホームページでも閲覧できます。
学校行事や生徒会活動、トピックスなどの情報が盛りだくさん!!
ぜひご覧ください。一高の「今」を実感していただけます。

携帯電話からは、右のQRコードよりアクセス!!



甲府第一高等学校
PTAだより

Parents, Teachers and Students.
We are KOFU FIRST HIGH SCHOOL.

Vol.15

KOFU FIRST High School
PTA Profile Paper,
We are KOFU 1st vol.15 July, 2017
山梨県立甲府第一高等学校PTA

ブロック制で生まれる新たな絆!



No Limit
頭脳も体力も…団結によって、限界を超える!



PTA会長
大沢正聖

PTA会長就任のごあいさつ

共に be ambitious

創立100周年の昭和56年3月、私は甲府一高を卒業しました。あれから37年がたち、母校のPTA会長という重責を担うことになるとは…。感慨深いものがあります。

近年、一高は強行遠足を始めとする伝統行事を軸に、文科省のSGH指定や英語科から探究科への改革等、新たな歴史を築こうとしています。

生徒諸君にはこのような一高において、多くの経験や友人との絆を核とし、多種多様な学びを深めてほしい。柔軟



校長
堀井 昭

一高祭に思う

定期試験終了後、一高祭本番へと一気に学校の雰囲気に変化しました。学習や部活動と平行しながら、学園祭の活動にも主体的に大きなエネルギーを注ぐことができる生徒の若さを肌で感じる毎日でした。ご家庭においても一段と子供たちのサポートにご尽力頂いたことと存じます。

生徒たちが一高祭にかける思いの強さは、その準備段階で教室から聞こえてくる歌声や歓声によく表れています。懸命に、純粋に、楽しそうに取り組む姿は本当に良いものです。

We are KOFU FIRST HIGH SCHOOL.

な発想から生まれる新たな活力を共有し、切磋琢磨し、人生の礎を築いてほしい。「いや高きぞみをもちて」歩んでほしい。

保護者の皆様、私達も先生方と共に生徒達を熱く応援していきましょう。私自身も一年間懸命に務めてまいりますので、強行遠足を始めとする学校行事へのご協力をよろしくお願いたします。

創作活動の中では、満足できる作品を創りたいという気持ちに比例して、葛藤や困惑も大きくなります。時に生徒同士の対立や衝突もあるでしょうが、そうした困難に正面から立ち向かった努力が結実し、一高祭が形作られたと考えるととても感慨深いものがあります。

審査結果も重要かもしれませんが、それまでの過程で成功、失敗、達成感、挫折、様々な経験を通し、生徒一人一人の内面が成長を遂げていることこそ、一高祭の存在意義があると考えています。

伝統に埋もれない新しい情熱が、一高祭で輝く!



第70回 一高祭

2017.6.22(木)~24(土)



6.24
一般公開
入場者
2000名以上!

李 戴 圭 生徒自治会会長

今年で第70回目を迎える一高祭は「No Limit」のもと、限界に挑戦してきました。多くの生徒が一高祭の成功の為に努力を重ねたからこそ、あの盛り上がりや感動が生まれたと思います。

私自身も一高祭を開催出来たことを誇りに思うと共に嬉しく思いました。トラブルも多々ありましたが、各委員会、先生方はじめ保護者の方々の協力無しには成功させることが出来ませんでした。重ねてお礼申し上げます。

小林真子 一高祭実行委員長

一高祭準備期間から一高祭終了まで、私は本当に幸せでした。生徒会室や教室に行けば笑顔で迎えてくれた友達がいたこと、ずっと陰で私の支えになってくれた友達がいたこと。そんな、決して当たり前じゃない大切な

友達が傍にいてくれたからこそ、私は一高祭実行委員長をやり返ることができました。

一高祭当日、私は一高生のたくさんの笑顔が見られてとても嬉しかったです。来年も笑顔で溢れる一高祭を全員で創り上げてください。

長田春花 体育委員長

一高祭2日目体育祭。今年は、ブロックごとの応援が絶えず体育館いっぱいに響いていました。応援などをきっかけとして、他学年の人と交流することができていれば幸いです。

体育委員の手違いもあり、いきなりの変更があったり、ルールが不十分であったりしましたが、みなさんのご協力のおかげで無事成功させることができました。ありがとうございました。

稲男泰希 Cブロック ブロック長

この一高という素晴らしい伝統校に初めて導入されたブロック制で、初代ブロック優勝をCブロックが勝ち取ることができ、誠に嬉しい気持ちでいっぱいです。とりあえず、3代目あたりまではCブロックが優勝して欲しいです。頼りないブロック長でしたが、ついてきてくれてありがとうございました。これからは志望校も勝ち取るために、勉強にしっかりと励みます。一高最高。

笠井梨奈 3年6組 理事

私達3年6組は、文理混合クラスで、全員が同じ教室で授業を受けることはほとんどありません。その中で、いかに団結して一高祭を創っていくかがポイントとなります。今年は

最後の一高祭だったので、みんな例年以上に気合いが入っていました。結果としては思うような点は取れなかったですが、一高祭期間中、多くの人達とコミュニケーションをとることができました。

3年間同じクラスでも意外と知らないみんなの一面はたくさんあります。仲間の良いところに気付くことって、なんだか心が温かくなりますよね。

鷹野文哉 2年4組 理事

「革命を起こしてやる」。そこからクラス目標「REIOLUTION」が誕生した。3日間のために全力で準備してきた。自分は理事でありながら、クラスのために少しの貢献もできなかった。しかし、周りの仲間がカバーしてくれ、完璧な状態で学園祭を迎えることができた。

当日、ダンス・競技・応援・企画・出店は2年4組だけの物を創り上げることができたと思う。支えてくださった方々、クラスみんなに感謝したい。

小池翔瑠 1年3組 理事

高校生になり初めての学園祭。準備期間中はトラブル続きで、クラス全員同じ方を向き団結するなんてことにはほど遠かった1-3。それでもクラスみんなで創りあげた学園祭は、自然と笑顔に変わり、充実感と達成感に変わっていきました。

クラスTシャツの「40+2」「GET'S」の文字のように、失敗も成功も、仲間とともにGET'Sできたのではないのでしょうか。

生徒自治会行事のメイン「一高祭」。テーマ～No Limit～のもと、各々が限界に挑み、創り上げられた数々のパフォーマンスはそのどれもが素晴らしく、観る人の心に深い感動を与えてくれました。中でもとりわけ印象に残ったものは、文化祭の最後を飾った壮行会です。それまでの華やかな雰囲気が一変し、厳粛な空気に包まれた会場に響く、応援団の掛け声と太鼓の音。ステージの上で舞う団長の力強く美しい舞。また、それに呼応するように重なる生徒たちの声援。時を経ても変わることのない応援の形は、まさに「一高」の真髄であり、その気骨と風格が着実に伝承されていく場面でもありました。

伝統を重んじ、目標に向かって果敢に挑戦する「一高生」の無限大のパワーを直に感じた学園祭でした。(1学年保護者)

初めての学園祭で、直前は早朝練習に、放課後練習にと励んでいる子どもを見て、学校生活が充実したものになっているんだと、ありがたく感じていました。学園祭1日目と3日目を見学させていただきましたが、一高生の創造力や、パフォーマンスのレベルの高さにとても驚きました。コラーニー文化ホールでの合唱はどのクラスも、よく練習されていて美しい歌声でした。3日目は教室展示も、おもてなしの心が感じられ、とても楽しく参加すること

ことができました。子どもの成長が感じられた素晴らしい学園祭でした。(1学年保護者)

各教室の展示・創作に長蛇の列。出てくる人達からの賞賛の声。階段の踊り場に美術部の生徒の力作が並ぶ。自然科学部の生徒の発表には未来の科学者の小学生たちが興味深々。生徒の漫才の丸山先生の物真似は秀逸。見事なまでに仕上がった模造紙に込められたそれぞれの思いが白い紙を輝く金色に変えている。心から満足して帰路についた。(2年保護者)



限界は超えた人でなければ分からない。一高の学園祭は基本的に生徒主導で行われており、どこまで突きつめるかは子供達の心に掛かっている。クラス発表や展示はどこまでやっても完成することはない。しかし妥協せずにやり抜いたからこそ、初めて感じられる境地がある。ベストを尽くしたのであれば結果に一喜一憂する必要はない。多くの笑顔や涙を通じて子供達は大きな成長を遂げている。一皮むけた娘の笑顔がそう語ってくれた。(2年保護者)

一高祭初日のイベント、文化祭へ出かけました。テーマの「No Limit」。この言葉に対し、堀井校長先生の挨拶で「Big Dream」「Strong」「Don't Give Up」というワードが出ました。まさに大きな夢を持って、力強く、あきらめず、限界を感じさせない一高生のパワフルな姿を感じ取る発表会でした。

各クラスの発表は、観覧している客席の仲間や保護者、先生方のため、そして自分たちのために、クラス全員が一丸となり、力の許す限り頑張っている姿が印象的でした。もちろん、舞台上に直接出ていない生徒も、この日のために裏方で働き、当日の成功のために十分な準備をしてきていたのでしょう。一高生の素晴らしい発表を見ることができました。(3年保護者)

娘が三年生となり、一高祭、最後の文化祭を観させて頂きました。私は、特に演劇が楽しめました。中には、脚本、ナレーション、演技が上手で、引き込まれるものもありました。一高祭を通して各人が協力して作品を創り上げる事の大切さを学んだのではないのでしょうか。これからも、どんな困難にあっても、一高で学んだことを糧に頑張ってください。何事も真剣に取り組めば、必ず、周りの人達がおのずと応援してくれるでしょう。頑張れ、一高生。(3年保護者)

